



学会通信

第3号 2023年7月17日発行

2023年9月9日(土) 第1回聖隷国際教育学会 年次大会

参加申込 受付開始です！

参加申込はこちらから➡
<https://forms.gle/T9Sii1bZof13S3cS7>

*必ず参加申し込みを8月末までにお済ませください。



場所：聖隷クリストファー大学 5号館 5階 5401 教室

時刻	内容	備考(担当他)
9:30	受付	受付: 杉山
10:00	あいさつ(会長) 日程等説明(事務局長)	司会: 瀬戸
口頭発表	分科会[A](1)2)二宮・(3)4)福重 5401	分科会口(1)2)和久田・(3)4)杉山 5402
10:15	(1)渡島淳子(市民立小中一貫校 浜松つらぬき楽園) 「市民立小中一貫校～市民がつくる新しい教育のカたち～」 2021年11月開校の市民立小中一貫校浜松つらぬき楽園(がくえん)の取り組み発表。そのモデルとしている市民立小中高一貫校瀬戸ツクルスクールの実践も紹介しながら、市民がつくる新しい教育のカたちについてお話ししたいと思います。	(1)原 崇智(クリストファーこども園) *ビデオ発表 「こども園でのウェルビーイングを考える。」 日々の保育の中で起きた問題やトラブルについてクラスでミーティングして一緒に考えたり、問題解決に向けて取り組んだりすることで、子どもたちの生活やクラスはどう変わっていったか。また、子どもたちはどんなことを考えて課題と向き合おうとするのか。そこで保育者にはどんな援助が出来るのかといったことを報告します。
10:30	質疑・研究協議	
10:40	(2)原田 卓(静岡サレジオ小学校) 「PYPを活用した生活科授業づくり」 小学校生活科において、多くの学校で実践されるアサガオの栽培活動を題材に、国際バカロレア PYP の学習フレームを活用し、単元の導入を工夫することで、児童の主体的、探究的な学びを導く実践の一事例を提案します。	(2)戸田樹志(中泉保育園) 「保育環境の構成に関する取り組み」 昨年度の2歳児クラスと今年度の3歳児クラスの保育環境を構成してみ、良かったことや気づいたこと、反省点や今後の課題等を発表します。
10:55	質疑・研究協議	
11:10	(3)モーテンJ・ヴァテン(本学) 酒井絵美(東京藝術大学) 「国際教育のアート・カリキュラムの現状と未来：世界の音楽映像を用いた教育の可能性」 本発表では、現状のアート・カリキュラムの改善に向けて、世界の音楽映像を用いることでアプローチする試みを紹介します。小学校での反転授業や、大人になってからの生涯学習といった事例をもとに、真の「国際性」「創造性」について考察するものです。	(3)友清和輝(こうのとり保育園) 「心が交わる言葉」 子どもたちへの言葉掛けに正解はなく、大袈裟に言えばその言葉によって子どもたちの未来は分岐して成長していくと考える。その中で、子どもの今を受け止める言葉と一歩進む背中を押す言葉とは。また、掛けたくない言葉をなくすためには環境の工夫も大切となる。それらがこれからの時代を生きる子どもたちの人間関係の基盤となるため、その大切さを伝えたいと思います。
11:25	質疑・研究協議	
11:35	(4)首藤貴子(聖隷クリストファー小学校) 「小学校の授業における ICT を活用した子どもたちの思考の可視化とコミュニケーション支援の効果について」 この研究では、小学校の授業において AI、ワードクラウド、Google Workspace などの ICT ツールを使用し、子どもたちの意見を可視化し、クラス全体で共有する取り組みを行いました。普段は積極的に意見を発信しない子どもたちの考えも取り入れることができたなど、参加度の向上に効果があった事例を報告します。	(4)高橋亮祐(NPO 法人スポーツコミュニティ警田・ポラスター 一般社団法人 ASOBI) 「体幹よりも体感を～乳幼児期に育む感性・感覚・感情～運動あそびの理論と実践」 乳幼児期の体づくりに体幹育ちは欠かせません。しかし、体幹ばかりに意識がいくと子どもも大人も苦しくなってしまう事があります。ですから、まずは体幹よりも体で感じる体感の感性、感情、感覚を大切に運動あそびをする事で心が育まれ、体ができ、技術を習得できるようになるのです。
11:50	質疑・研究協議	
13:30	「誰一人取り残さない保育・教育」 シンポジウム [1]趣旨等説明・シンポジスト紹介(鈴木) [2]シンポジストからの発表・報告(各30分程度) ①森田麻登氏 (神奈川大学人間科学部助教/筑波大学附属学校教育局スクールカウンセラー) ②三原菜央氏 (株式会社スマイルパトン代表取締役社長 / 「先生の学校」主宰) ③花井和徳氏 (前浜松市教育長・公益財団法人浜松市文化振興財団代表理事)	参加者には、シンポジストの話聞きながら、質問等あれば Google フォームに記入していただく。 Google フォームチェック: 杉山・瀬戸
15:00	質疑応答・協議	少し休憩を取り、Google フォームに書き込まれた質問等をまとめる
15:30	大会 閉会	司会: 瀬戸
15:40	ティーパーティー (参加者の自由な交流会)	ノルウェー民族音楽ミニライブあり https://www.norkul.com/
17:00	ティーパーティー 閉会	

- 参加区分()内参加費 当日、受付でお支払いください。
Participation category () Participation fee
- ・正会員 / 法人会員のメンバーを含む (無料)
- ・本学学生 (無料)
- ・本学卒業生 (無料)
- ・一般社会人(会員外)(¥1,000):ティーパーティー参加費含む

♡お昼には学生・卒業生交流会あり

■弁当

Box lunch

- ・学生・卒業生以外の学会会員/一般社会人(¥1,000)お茶付
- ・本学学生・卒業生(¥0)お茶付

■ティーパーティー(学会後の参加者交流会)

Tea party (Participant networking event after the conference)

- ・参加者 全員無料

♡ノルウェー民族音楽ミニライブあり

NorKul TOKYO

「セリエ・フルート、山笛、山羊の角、口琴などのノルウェー伝統楽器からピアノや電子楽器までを自在に操るノルウェー出身のモーテン・ヨアキム・ヴァテン、そして、演奏家・音楽民族学者としてノルウェーを幾度も滞在し、ハーディングフェーレとフィドルを演奏する東京出身の酒井絵美によるデュオ。」
<https://www.norkul.com/> より

■駐車場

Parking

右図のとおり➡

駐車場情報



<https://goo.gl/maps/j9wTSbGUmLjx5QYM8>

■学会費未納の方はお振込をお願いします。

金融機関名:遠州信用金庫 支店名:中川支店(店番:020)

預金種目:普通 口座番号:0178045

口座名:聖隷クリストファー大学国際教育学会 会計 杉山沙旺美

問合せ先:学会事務局 kokusai-gakkai@seirei.ac.jp